

NEWS 7 和太鼓部が武蔵御嶽神社「日の出祭」に参加 (地域連携に関すること)

5月8日(日)、本校の和太鼓部が、武蔵御嶽神社で行われる中世より続く最も格式の高い例大祭「日の出祭」に参加しました。

武蔵御嶽神社と本校は、本校で1年次に実施するフレッシュマンキャンプの宿泊施設のセミナーハウスが御岳山にあるという縁があります。



2年ぶりの開催となった「日の出祭」ですが、これまで長年祭りを彩ってきた和太鼓演奏を行う「青梅太鼓」の皆さんが、高齢化と後継者不足で参加できなくなるという神社関係者からの訴えに貢献するために、本校の和太鼓部が参加することになりました。

当日、2・3年次の生徒15名は、2時間を超える演奏を行いました。現地にお住まいの方や登山客、神事に参加される方々に大いに喜んでいただくことができ、立派にその役目を果たすことができました。生徒たちにとっても、待ちに待った外部の方々に向けての公演であったこともあり、良い刺激となりました。今後も多くの方に青梅総合和太鼓部の公演を見ていただき、地域との交流を深める機会が増えることを切に願っております。

NEWS 11 オンラインによる国際交流 (学校間交流に関すること)

5月13日(金)、学校設定科目

「ハングル発展」の受講生徒が、韓国新松(シンソン)高校の生徒とオンラインによる国際交流を行いました。

本校は、これまでドイツポッパルト市のカントギムナジウム高との交流を行ってきましたが、時差があるため、

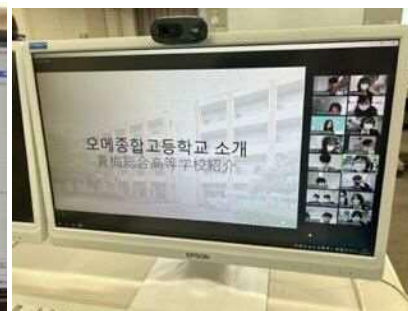
現地との対面交流やオンライン交流は難しい状況でした。

そのような中、ハングル語講師の教員と交流委員会の教員が連携して、時差のない韓国の高校との交流を実現させました。

今回の交流では、互いの自己紹介と自国の紹介を行いました。生徒たちは、目を輝かせ、オンライン交流に臨んでいました。

年に6回の交流を予定しており、次回6月17日(金)の交流では、それぞれの国の名菓の紹介などを行います。

今後も、生徒が多くのごことにチャレンジする機会を創出し、コミュニケーション力を身に付け、自信をもって社会で活躍できるよう取り組みます。



NEWS 31 2年次防災訓練！(地域連携に関すること、防犯・防災に関すること)

6月17日(金)に2年次防災訓練を実施しました。災害から自らの命を守る「自助」、自校の防災と近隣住民の安全を支え、助け合いや社会貢献などの「共助」の精神を育み、実践力の育成とやり抜く力を身に付けさせることを目的に実施しました。当日は、3年



ぶりに地域住民の方にお声がけをし、18名の方が参加しました。また、実施内容については、青梅市役所、青梅消防署日向和田出張所と連携しながら準備し、昨年に続くVR地震訓練車体験のほか、新たに煙体験車、消火訓練車を体験し、青梅市役所市民安全部防災課危機管理係長様からの講演、最後はまとめとしてアンケートの入力等、防災教育に1日取り組みました。

生徒から、「VR体験など日常できない体験なので貴重な経験ができた。」「正しい情報を取り入れて、安全に避難すべきだと感じた。もしその立場になったら、慌てないで安全なところに避難できるようにしたい。」などの感想があり、様々な体験から防災意識の向上につながりました。

NEWS 32 ハングルオンライン交流会を行いました！ (学校間交流に関すること)

6月17日(金)、学校設定科目「ハングル発展」の受講生徒が、韓国新松(シンソン)高校の生徒とのオンラインによる国際交流2回目として、両国のお菓子について話し合う交流をしました。

新松高校からは、米粉でつくった「玉春堂」「ゴマ玉春」という飴菓子をいただき、本校からは、蒟蒻ゼリー、青梅せんべい、東京バナナを送りました。

生徒は、事前にスピーチする内容をハングルに翻訳し、練習を重ねて本番に臨みました。

参加した生徒は、「韓国の伝統的なお菓子は初めて知るものが多かったのでおもしろかった。自分が紹介した日本のお菓子を相手の生徒が知っていたのでうれしかった。もっと話せるように語彙を増やしていきたい。」と学習意欲を高めました。

次回は、SDGsや両国の着物について交流します。



NEWS 35 全日制・定時制合同授業力向上研修を実施しました！（デジタル機器の活用に関すること）

6月19日（木）、本校の全日制と定時制の教員が、課程の枠を超え、授業力向上にむけて合同で研修を行いました。テーマは「ICTの利活用に向けて」です。50分という限られた時間の中、全・定それぞれの教員が自身の取り組みを発表・共有しました。

今年度より一人1台端末の導入が始まり、各課程の教員が手探りで授業計画を練る中、他の教員の取り組みについて相談したり、共有したりすることで、「考えさせる授業」に向けたきっかけづくりとなりました。今後はICTの利活用だけでなく、両課程共有の備品・施設管理や業務改善に向けた都立学校総合型校務支援システムの活用等、相互の課程の発展につなげられるよう、協力体制を構築します！



NEWS 71 学校満足度100%をめざす三者懇談会を開催！（その他好事例）

10月27日（木）、本校は、生徒代表、保護者代表、教員代表で「学校満足度100%をめざすための三者懇談会」を実施しました。

それぞれがもっている学校生活に関する考えや意見について、忌憚のない話し合いをしました。限られた時間の中で今回は、制服、化粧、交通安全と生活指導中心の話題としましたが、今後は、進路や教務の内容など、定期的に意見交換の機会をつくりたいと考えています。

参加した生徒からは、「自分たちの意見が言えてよかった。」、「化粧については、家庭の教育力の範囲ではないか。」、保護者からは「あっという間の時間でもう少し話をしたかった。」、「校則について、靴下のロゴは時代に合わせて認めてもいいのではないか。」など貴重な御意見をいただきました。今後さらによりよい学校となるよう、意見を活かしていきたいと思えます。



NEWS 95 スケアード・ストレイトの交通安全教室を実施！(交通安全に関すること)

本校では、東京都教育委員会から、令和4年度自転車安全運転指導推進校事業の指定を受け、通学時における交通事故ゼロを目指した活動を行っています。

毎年、1年次の1学期に自転車事故が多く発生していることから、今年度は、①登下校中の自転車の安全な利用の講義、②自転車損害保険の加入についての周知、③自転車シュミレータを活用した自転車安全教室、④生徒会を中心としたヘルメット着用に向けた啓発運動など多くの取組を行っています。

12月20日(火)、1年次の生徒は、スケアード・ストレイトの交通安全教室を受けました。東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部交通安全担当中野課長からの挨拶、青梅警察署交通課交通総務課長の講話、au損害保険株式会社からのヘルメット贈呈式を行いました。

青梅警察署船窪課長からは、令和5年4月1日から自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務になること、交通ルールやマナー、出会い頭の事故の多さ、令和4年度都内の交通事故の件数など多くの内容について御指導いただきました。学校、東京都、地元警察、民間企業との連携が図れ、今後も生徒の安全を見守る取組ができたと思います。

生徒からは、スケアード・ストレイトを生で見て体験し、交通事故の怖さ、死角となって自動車の運転手が自転車に気が付かないこと、ながら運転はしないことを学び、「自転車は左側を走行するなど改めて考えさせる交通安全教室でとても勉強になった。」という意見がありました。

今後も学校として「青梅総合の交通事故ゼロ」を目指し、マナーやルールを理解した自転車走行、登下校中のヘルメット着用率を上げるなど生徒が安全に安心して通学できるように取り組んでまいります。



NEWS 98 総合学科推進部主催で講演会を実施しました！（その他好事例）

本校の総合学科推進部では、キャリア教育の一環として、様々な社会人の方による生徒に向けた講話を実施しています。令和4年12月22日（木）、全校生徒を対象に、青梅総合高等学校校歌『広野に』の作詞者の林望先生をお招きし、講演会を実施しました。

先生からは、歌詞に込められた、国文学の知見に基づく青梅総合高等学校ならではの特色の解説だけでなく、生徒たちにかげがえのない高校生活を大切に、失敗を恐れず迷いながらもその時々を精一杯過ごすよう激励をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で今日に至るまで合唱の練習ができず、放送で流れる校歌を聞くのみとなっている在校生ですが、先生のお話を聞いて「こんなに青総らしい校歌と知って誇らしいし有難いと思った。」「卒業式にはみんなで歌いたい。」などの前向きな感想が多く寄せられました。

